

## 会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回東松山市文化財保護委員会議					
開 催 日 時	令和6年5月20日（月）			開 会	午前10時00分	
				閉 会	午前11時00分	
開 催 場 所	東松山市総合会館3階 302会議室					
会 議 次 第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ 4. 委員長・副委員長選出 5. 議 題 （1）令和6年度事業計画について 6. その他 7. 閉会					
公開・非公開の別	公開	傍 聴 者 数		0人		
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	委員長	小澤 謙一	出席	委 員	栗原 直子	出席
	副委員長	小澤 弘	出席	委 員	林 龍生	出席
	委 員	荒井 豊	出席	委 員	柳 正博	出席
	委 員	内田 博	出席			
事 務 局	吉澤 勲 教育長			佐藤 幸恵 埋蔵文化財センター所長		
	柳沢 知孝 生涯学習部長			矢口 翔馬 埋蔵文化財センター主任		
	田島 信子 生涯学習部次長			小笹 裕美 埋蔵文化財センター主任		
	上 敏文 生涯学習課課長					

次 第	顛 末
1.開 会	佐藤所長
2.委嘱状交付	吉澤教育長
3.あいさつ	吉澤教育長
4. 委 員 長 ・ 副委員長選出	小澤謙一委員長 小澤弘副委員長
会議の公開、 会議録署名 委員の指名	○会議の公開、傍聴人、会議録署名委員の指名について (佐藤所長) 会議を公開とするか非公開とするか、傍聴人の申込みがなかったこと、会議録の署名委員を指名することについて、説明。 ・会議については公開、傍聴人は申込がなかった。会議録署名委員は林委員と柳委員を指名することについて、全員了承。
5. 議 題	<p>(1) 令和6年度事業計画について</p> <p>●文化財啓発事業</p> <p>(矢口主任) 説明。</p> <p>(柳委員) 民俗芸能大会について、参加団体はこれから詰めるのか。</p> <p>(矢口主任) 東松山市民俗芸能保存連絡協議会に加盟している13団体の皆様に基本的には参加していただく方向で打診等している。ただ、各団体さんの都合で、例えば野田獅子舞さんは、奉納そのものができていないので参加が厳しいという声をいただいている。</p> <p>(柳委員) 参加できない場合は、例えば映像を流す、写真を展示する等行ってはどうか。まだ時間があるので考えていけばよいと思うが、とにかく13団体が1つで動いていますというのが見えた方がよい。それから大事なことは1人でも多くのお客さまに観ていただきたい。予算をかける以上、さすが文化財だという芸能大会になってほしい。</p> <p>(小澤謙一委員長) 各団体でも子どもたちがいなくなったり、少なくなったりして活動ができない状況が結構見られる。獅子舞は子供が演じるので特にそう感じる。神戸地区は小学生が少なくなってしまったため、小学生の時に獅子舞をやった中学生にやってもらう方向で検討している。野田獅子舞は大人がやっているでしょうから、難しいと思うが探せば居ると思うので、参加できるように話をすすめてもらいたい。あと1つは、地区で何人とか動員かけてもらった方が、演舞する方も張り合いが出るのでお願いしたい。</p> <p>(栗原委員) 民俗芸能大会について、これからの人材育成の為に、小・中学</p>

校側へも上手に参加要請ができるとうい。地域によっては取り組んでいる学校もあるので、案内パンフレットを全児童・生徒配布できればよい。これからの子どもに自分の地域でやっているということを知るきっかけになればと思うので、ぜひ工夫してほしい。

(小澤弘副委員長) 民俗芸能を知ってもらえばかりでなく、文化財全般について知ってもらいたい。高坂地区東側は新住民が相当増えている。このような新しい住民や先住者の若い世代に対して、今住んでいる地域はどういうところか、関心をもってもらいたい。高坂では子どもたちも大変多くて、本来高坂小学校行く子どもたちが桜山小学校へ通学している。子どもたちへは出土品を持って見せて文化財講座ができればと思う。また文化財マップとリンクしてもらい、あるいは歩け歩け運動の中にマッピングして見てもらう等さまざまな事業と連動しながら、文化財の啓発を行政の中で位置づけていくべきである。これだけいろいろな専門の保護委員・調査員がいるので、今年度ではなくてよいので、小さくてよいからいろいろなレクチャーをやるのが望ましく、それが市民の活性化に繋がると思う。今年度計画ではなくてよいので将来の計画の中で大きな年度計画として、地域住民の若い世代の次に市を支える人たちに知ってもらう機会をお願いしたい。埋蔵文化財センター職員で全部やるというのは無理だし、業務が増してしまうので、保護委員や調査員も含めて、またそれ以外でも委員はたくさんいるので、ぜひフル稼働させて、来年度ぐらいから少しずつ小・中学校、そして地域住民へ教育委員会としてプログラムしていただくように考えていただきたい。

(小澤謙一委員長) 現在、社会教育講座等と色々行っているので、それを活かし広げてもらいたい。

### ●文化財保存事業

(矢口主任) 説明。

(小澤謙一委員長) はにわの丘公園の樹木の伐採について、以前、結構崩れ始めている状況が見えていたが、最近はどうか。

(佐藤所長) 南側道路に向かっての斜面のことだと思うが、樹木がいくらか生えている為、最近は土が流れたりということはない。それよりも園路の方が、木の根が盛り上がりボコボコしている方が気にかかっている。

(小澤弘副委員長) 高坂ニュータウンは40年経つ。桜の木は根がすごく出て園路もかなりひどい状態で心配であるが、よく手を入れていただいているので、今のところは大丈夫とみている。

(矢口主任) 園路整備も含めて、はにわの丘公園に関しては再整備を進めたいと考えており、文化財保存活用地域計画の中にも記載した。今年度の樹木の伐採は、危険木の伐採であるが、今後、土の問題や立ち枯れしている木、そして園路を整備していけるように計画的に進めていきたい。

(小澤弘副委員長) 人通りがない方面を防犯的な意味で、見通しを良くしてほしい。

(柳委員) 文化財保存活用地域計画について、パブリックコメントの反響はあったか。

(矢口主任) パブリックコメントに関しては、先程のはにわの丘公園はパブリックコメントを受けて計画を変えた部分になる。元々は園路整備という形で計画に載せていたが、駐車場があるとよいという意見や遊具を置いてほしいという小学生の意見等があったので、実際に遊具を置けるか分からないが、園路整備ということだけではなく、はにわの丘公園の再整備という形に拡充をして、計画書に記載をしている。そのような変更等、パブリックコメントを受けて行っている。

2名の方からご意見をいただき、内容は修正をしている。

#### ● 文化財調査事業

(矢口主任) 説明

質疑なし。

#### ● 埋蔵文化財センター運営事業

(矢口主任) 説明。

(柳委員) 窓口照会が4・5月で31件とあるが、東松山市は県内でも埋蔵文化財包蔵地の数が多く、これからも照会が多く来ると思う。そのため、ニーズに対応できるため考古担当の充実について教育委員会の方で判断していただきたい。ここに記載のある窓口照会といっているものは、埋蔵文化財関係だけか。

(矢口主任) ここに記載しているものはすべて埋蔵文化財に関する件数になる。開発をするにあたり、包蔵地内か包蔵地外かの照会である。データの入力上は包蔵地内の件数を入力している為、31件であるが、これ以外に包蔵地外と回答しているものがあり、毎日複数件照会がある。照会文書取扱件数について、今回から追加で記入したが、開発にするにあたり、包蔵地内の場合、より具体的な事業を伺わないと埋蔵文化財の保存ができるかどうか判断できない為、文書で事業計画を提出依頼したのが10件である。

	<p>包蔵地内の全てにこの照会文書の提出があるわけではなく、例えば包蔵地内であるが、すでに発掘調査が終了している場所は、照会文書を省いている。それでも10件は事業計画があるをご理解いただきたい。</p> <p>—以上、令和6年度事業は了承—</p>
6.その他	<p>○市指定文化財八雲神社社殿覆屋屋根修繕について</p> <p>○次回会議日程について</p>
7.閉会	佐藤所長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和6年6月6日      署名委員      林 龍生</p> <p>署名委員      柳 正博</p>	